

第151号 1986.9

- 「見返り美人」の図（園田治三郎）
- 日本人のハナは世界一？（岩崎敏夫）
- 平尾子之吉先生を偲ぶ（古川靖）
- 香りの可能性（吉武利文・川上智子）
- 1980年代の香り（宮口鍵吾）
- バンコクを味わう（細貝祐典）
- アルデヒド、アンモニアおよび硫化水素から生成する
ヘテロ環状化合物とその生成メカニズム（川合哲夫・入江孝・坂口守彦）
- ペリーの香りを求めて（金ヶ崎喜一郎）



第152号 1986.12

- 香道の理念を求めて（諸江辰男）
- 小川嘉治氏 栄の藍綬褒章受章
- 山椒と私（今井信行）
- 柳の下の十年（稲畑慶四郎）
- 香り雑感（志賀實）
- 吉田利男博士を偲ぶ（志賀實）
- ニュージーランドの人々の考え方（塩田晴康）
- 化学物質（香り物質を含めて）は生体内でどう変化する？（松倉十一）
- クスノキ科クロモジ属植物の果実精油成分について（仁井皓迪）
- 第30回 香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会に出席して（志賀實）
- 香りを楽しむ（瀬木かすみ・金ヶ崎忠）
- 昭和61年（1月～6月）香料統計

第153号 1987.3 特集 食品香料

- 食品香料特集号の発刊に当って（諸江辰男）
- 紫匂う“女人の香り”（真下又蔵）
- 清涼飲料（伴野文男）
- 冷菓（古川靖・橋本清二）
- 菓子・ガム類用香料について（尾崎伸次）
- 乳製品と香料（大沢直人）
- 醗酵食品（味噌、食酢、醤油）（久木田勉・石塚茂樹）
- 食肉水産加工食品（児玉広行）
- 冷凍食品の市場動向とそのフレーバリング（竹内鐸也）
- 調味料（北村太郎・渋谷次郎）
- 最近のワイン、ビールの嗜好性と多様化（工藤由紀子）
- 嗜好飲料（大崎和彦・島田貢）
- 健康食品の進歩と現状（三上杏平）
- 第10回 International Congress of Essential Oils, Fragrances and Flavors
（国際香料会議）に出席して（秋山孝）
- 第20回 味と匂のシンポジウム（川崎通昭）

第154号 1987.6 日本香料協会創立40周年記念号

- 創立40周年を迎えて（会長 富樫英一）
- 日本香料協会創立40周年を祝う（曾田義二郎・池田信彦・稲畑謙一郎・井上富夫・井上真治・今井信行・小川嘉治・小野一夫・小林米治郎・清水孝重・永井国太郎・長谷川正三・諸江辰男・山本芳明・金ヶ崎喜一郎・高島主馬）
- 日本香料協会創立40周年を祝って（阿部巳喜雄・山内寿紀・武政邦夫・向山光昭・中島稔・矢島治明・平野禮次郎・岸本泰延・大野良雄・金田博夫・山口芳雄・門前貢・鈴木三郎助・長谷川正三・富永孝・中西健次・塩野太郎・浪江彦一・津野田勲）
- 海外商社祝辞（International Flavors & Fragrances Inc. Bush Boake Allen Ltd. Haarman & Reimer GmbH Fritzsche Dodge & Olcott A Unit of BASF K & F Corporation V. Man Fils S. A. PFW Division Hercules Incorporated Roure Bertrand Dupont S. A. Florasynth inc. L. Givaudan & Cie., S. A. PFF・Naarden International）
- 特別寄稿
- テルペンと私（伊東徹）
- 香料—分子化学から物質科学へ（伊藤昌明）
- たばこの喫み味アレコレ（大西勲）
- 動物のにおいとコミュニケーション（木村武二）
- においによって開発された伊豆縮砂研究の思い出（木村雄四郎）
- 香料・テルペン類合成研究とのかかわり（佐藤菊正）
- においを忘れた男（目武雄）
- 香料化学へ進んだ道（穴戸圭一）
- 漢方薬のにおい（柴田承二）
- ハッカから分析化学（清水純夫）
- 私と嗅覚との出逢い（高木貞敬）
- 合成研究室と香り（野崎一）
- ウイスキーの多様性（野白喜久雄）
- ヒノキチオールとアズレン（野副鉄男）
- 「香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会」の今昔（松浦多聞）
- 思い出すまま（松井正直）
- 包種茶、烏龍茶、花茶の香り（山西貞）
- 香りと情報（湯川泰秀）
- テルペンの回想（吉越昭）
- 特集 わが国香料最近10年の進歩
- 日本香料協会創立40周年記念号発刊に当って（諸江辰男）
- 天然香料：国産天然香料の歩み（園田治三郎）
- 天然香料：天然精油の海外事情（佐藤敏弥）
- 合成香料の最近の進歩（真下又蔵）
- 合成香料：テルペン系香料の合成（小林東洋彦）
- 合成香料：ローズ系合成香料（露木孝信）
- 合成香料：アンバー系合成香料（土門徹）
- 合成香料：ムスク系香料（山本健）
- 合成香料：ウッディな香りをもつ合成香料（司英隆）
- 合成香料：含硫化合物（宮本正義）
- 合成香料：含窒素化合物（齋藤彰）
- 合成香料：その他の合成香料（天野章）
- 食品香料10年の歩み—概論—（松倉十一）
- 食品香料：清涼飲料・菓子・分析技術（前田貴）
- 食品香料：新しい技術および原料（木場茂樹・古川靖）
- 化粧品香料この10年の動向—概論—（広山均）
- 化粧品香料：フレグランスと基礎化粧品（宮口鍵吾）
- 化粧品香料：芳香品（伊藤仙次郎）
- 化粧品香料：トイレットリ—関係（延永留夫・林義三）
- 食用色素—この10年—（佐藤俊之）
- 果汁—この10年—（福本隆行）
- 食品添加物—この10年—（村井浩）
- 香料関係図書目録（川崎通昭・佐藤久子）
- 日本香料協会最近10年の歩み

第155号 1987.9

- 第40回 定時総会における会長挨拶（富樫英一）
- 日本の文化・フランスの文化（篠沢秀夫）
- 数と音と香りと（諸江辰男）
- 街の匂い（小林米治郎）
- 旅と匂い（秋山孝）
- 人の行動における匂いの役割とその重要性（M. Baudry et al. 著：黒澤路可 訳）
- 最近の食品環境（入江義人）
- 小エビ類の煮熟臭成分（久保田紀久枝・小林彰夫）
- コーヒーの香気成分（石井淳）
- 超臨界二酸化炭素抽出法の香料分野への応用（奥村丞司）
- 最近のフレグランスの傾向（和智進一）
- 「香りの美楽」展見学記（金ヶ崎忠）
- 昭和61年（1月～12月）香料統計

第156号 1987.12

- 眼と鼻の先（曾田義二郎）
- 法隆寺の沈香と白檀（諸江辰男）
- においの役割（川崎通昭）
- 街に出た香り（薬玄雄）
- ハーブの故郷をたずねて（三上杏平）
- 匂いと言葉（米谷健）
- バニラフレーバーの特性と利用（中澤勇二）
- ショウガの精油成分（菅隆幸・阪村俊貴子）
- 消臭・脱臭剤の作用と臭気の関係（重田芳廣）
- 大環状ムスク(1)（木之下公男・江藤武顕・阿部正三）
- 複雑で微妙な香料分析の完全自動化への取り組み（中道清彦）
- 第31回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会に出席して（岩淵久克）
- 昭和62年（1月～6月）香料統計

第157号 1988.3

- 香りと室町文化と現代生活（富樫英一）
- 源氏の香り（諸江辰男）
- 絵とかおり（越田善太郎）
- 香り：その不可解な魅力（薬玄雄）
- 歯磨の味（渡辺肇）
- モード学園での香りのアンケート（志賀實）
- スライスを起源とする機能成分（中谷延二）
- トイレットリ—製品における香料の活用（中島基貴・小池守）
- 最近のソフトドリンクの動向（松田浩）
- サンショウ果実の成分（古川靖）
- 大環状ムスク(2)（木之下公男・江藤武顕・阿部正三）
- 第21回 味と匂のシンポジウム（川崎通昭）
- 87国際化粧品展覧会に参加して（浜渦良男）

第158号 1988.6

- 第41回 定時総会における会長挨拶（富樫英一）
- 大嘗祭と四方拝の香り（諸江辰男）
- 匂いの記憶（伊藤仙次郎）
- 香るポップ（熊井明子）
- 香り考（粟野文治郎）
- 懐かしい人たち—その2—（広山均）
- 牛乳製品市場と乳製品の匂い（竹内鐸也・原口栄理）
- ニオイと官能検査（齋藤幸子）
- 植物のケミカルコミュニケーション（松岡英明）
- トロピカルフルーツ（鷲尾章三）
- かしの木と洋酒のかおり（司英隆）
- 国際調香師会議に参加して（手塚智博）
- 昭和62年（1月～12月）香料統計

第159号 1988.9

- 喫茶のはなし（諸江辰男）
- 恩師小幡弥太郎先生を偲ぶ（山西貞）
- お茶の役割（古川靖）
- 「香妃」伝説（奥田治・陳華浩）
- 南仏にて（中野邦博）
- 最近のフレグランスの流れ（宮口鍵吾）
- 「イフラ」15周年のって（甲斐莊正泰）
- テルペン化合物の変換と電解反応（鳥居滋・井口勉）
- 新規なフラグランス化合物について（松倉十一）
- フレーバー分析と多変量解析（鈴木潤）
- 日本産各種蜂蜜の香気成分中の含窒素化合物について（恒屋知之・志賀實）

第160号 1988.12

- 日本の酒と合成酒（諸江辰男）
- 長谷川正三氏叙勲の栄
- 観音さま（園田治三郎）
- 街のにおい（司英隆）
- 匂う随筆七編—日本人の食周辺に漂う匂いの話（小泉武夫）
- 薫物から香道へ（浜千代清）
- トルコ旅行記（山口宗助）
- 香りのフィールドワーク（前川喜美）
- プロセスフレーバー（早川俊彦）
- チルド・デザート製品におけるフレーバーの役割（相川均）
- 新規な人工フレーバー、アロマ化合物について（松倉十一）
- 洗口剤の現状（塩原敦志）
- アメリカ化学学会大会の「加熱香気形成に関するシンポジウム」に参加して（久保田紀久枝）
- 昭和63年（1月～6月）香料統計